

# 第47回 保護者と教職員の集い

## 【開催要項】



秋も深まり、木々も彩りを増す中、『保護者と教職員の集い』の時期が近づいてきました。昨年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を施し、本事業を対面で開催することができました。今年度も、保護者と教職員のみなさまの「つながる」場としての『集い』を開催します。十勝で活躍されているお父さんお母さんたちをお迎えしてのトークライブ、今年でPart15となります。昨年に引き続き、全体会を設け、ゲストさんの話を聞いた後にグループごとに分かれておしゃべりする時間を設定しました。ぜひ、先生方、保護者のみなさま、お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしています。

■期日 2023年11月23日(祝・木)※勤労感謝の日

■場所 音更町総合福祉センター

(音更町大通り11丁目1-19)

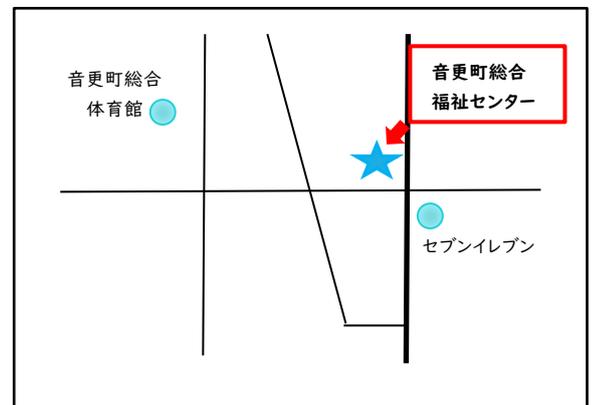
■主催 十勝特別支援教育振興協議会

会長 野村 勉(音更町立木野東小学校長)

■日程 9:20 ~ 9:40 受付

9:40 ~ 10:10 開会式・全体会(ゲスト紹介)

10:15 ~ 12:00 移動・おしゃべり会(1ブース20名)



■内容 トークライブ 『すてきなおかあさんたちのおはなし ~ Part 15』

■ゲストの方 ★八嶋 利永子さん ★奥村 仲恵さん ★乾 麻里子さん ★竹岡 好恵さん

■申し込み 各ゲストの方への希望が20名に達した場合、受付を終了させていただきますことをご了承ください。

参加希望の方は、Google フォームまたは『参加申し込み書』にてFAXでお申し込み下さい。保護者の方は、学校へ提出していただいてもかまいません。申し込み受付期間は、11月6日(月)迄です。

\*各校の担当者は、申し込まれる方をとりまとめ、『集約用紙』に記入の上、FAXで送付してください。

■その他 ○今年度は、十勝管内小中学校全てのご家庭へご案内させていただきます。

○当日の参加の判断について、参加者ご自身で健康観察を行い必要であればマスクの着用をお願いします。



### ★八嶋 利永子さん

中学2年生の自閉スペクトラム症で協調運動の困難さがある息子さんのお母さん。昨年に引き続き、ゲストママを引き受けてくださいました。

障害児・者の放課後支援施設の支援員を経て、現在は、小学校の支援員・発達障害やHSC(人一倍敏感な子)に関する講演や研修講師・さらに、2017年に発達サポート Hope を立ち上げ、帯広市と芽室町で発達の気になる子どもや敏感さをもつ子どもの保護者の茶話会や、少人数制のクラブ活動等の運営も行っていきます。現在、息子さんの高校進学を見据えて、性教育や身辺自立、体力作り等に日々、取り組んでいるところです。保護者として、そして支援者として大切にしている事は、子どもの『できない事』ばかりに目を向けず、『得意な事』や『その子らしさ』を伸ばすかわりをする事。そして、皆さんにお伝えしたい事は、完璧な人間は誰一人とし存在しない事。だから、完璧な親を目指すのではなく『チーム』を作り、周りの力を借りながら子育てしてほしいと思っておられます。視覚優位で手先の不器用な息子さんに、学校や家庭で使用してきた便利なグッズやおすすめ書籍の展示もしてくれます。

### ★乾 麻里子さん

今年度20歳になる息子さんと中学生の娘さんのお母さん。今回、初めてゲストママを引き受けてくださいました。

現在、地元の中学校の支援学級に通う娘さんは、乳児期に医師から「食べられない・話せない・歩けないだろう」と言われるほど、たくさんの心配がありました。ところが、乾さんいわく「数々の“ミラクル”を起こして」元気に伸び伸びと成長しました。その“ミラクル”は、娘さんのもっている力を信じ、将来は社会に貢献できる人になってほしいという願いをもちながら、常に前向きに娘さんとかかわってきた乾さんの努力があってこそのものでした。乾さんは高齢者のデイサービスに勤務し、利用者さんからも“あきらめない心”を学んだとおっしゃっています。

乳幼児期の療育、小・中学校の就学先、そして現在はこれからの進路について…娘さんの成長の節目に大切にしてきたことや、体験談などをたくさん伺うことができるとともに、乾さんの明るく優しいお人柄に元気をもらえることでしょう。

### ★奥村 仲恵さん

成人された息子さんと高校生の娘さんのお母さん。昨年に引き続き、ゲストママを引き受けてくださいました。

幼児期に発達の遅れを指摘された息子さん。小学4年生まで支援学級を利用し、高校卒業後は障がい者雇用枠で一般企業に就職。現在、一人暮らしをされています。息子さんが小さい頃、言葉も遅く偏食等のこだわりも強く、将来どんな大人になるのだろうと不安ばかりでしたと話す奥村さん。支えてくださった方の力の大きさと、小さくても積み上げたことは、無駄にならないということを実感しておられます。

奥村さんは親の力をはぐくむ会 infant という保護者サークルの代表を10年間務め、月に一度のお茶会や個別相談、学びを深めるための講演会の主催もされてきました。また、看護師として精神科病棟、公認心理師として放課後等デイサービスの指導員を経て、来年からは就労移行支援事業所に勤務される予定です。副業として、オンライン相談 infant というカウンセリングサイトを立ち上げ、カウンセラーとしても活躍されています。

### ★竹岡 好恵さん

成人された2人の息子さんのお母さん。今回、初めてゲストママを引き受けてくださいました。

現在、就労継続支援B型事業所で働く31歳の息子さんが子どもの頃は、特殊教育の時代でした。障がいに対する制度も理解も不十分な中、竹岡さんは息子さんが地域の保育所や小学校に通えるよう尽力されました。今のように情報を簡単に得ることもできなかったため、お母さん同士の横のつながりが頼りで、そのおかげで前向きに明るく進んでこられたとおっしゃっています。

息子さんが幼い頃はピアノの先生を、その後小学校の特別支援教育支援員を経て、現在は就労継続支援B型事業所に勤められています。また「帯広市手をつなぐ育成会」(親の会)の副会長と事務局としても活躍されています。お子さんの成長とともに教育制度が変わり、理解も広がり…という大きな変化を経験してこられたお母さんとしての体験談や、事業所や育成会の立場からの就労や生活にかかわるお話などをたくさん伺えることと思います。